

9月定例会号

わかやま 市議会 だより

No.107 令和4年(2022年)11月1日発行

目次

・特集 ワクワクがいっぱい 道の駅 四季の郷公園 FOOD HUNTER PARK	P2
・9月定例会の概要	P4
・採決状況	P5
・一般質問	P6
・委員会審査の概要	P10
・市議会からのお知らせ	P12



自然の宝庫

特集vol.20

ワクワクがいっぱい 道の駅 四季の郷公園

テレビ番組をはじめ様々なメディアでも取り上げられ、今や全国から注目されている「道の駅 四季の郷公園 FOOD HUNTER PARK」。今回、自然豊かな環境を生かした取組で地域の魅力を発信し続けている道の駅の平松駅長にお話を伺いました。



1 多様に楽しむ

「道の駅 四季の郷公園 FOOD HUNTER PARK」は、遊具やドッグパークなどを新設し、今年の4月にグランドオープンしました。阪和自動車道と歌山南スマートインターチェンジから車で約5分というアクセスの良さもあり、京阪神からの来園者も多く見られます。また、大型連休には、全国各地からも観光客が訪れ、より一層のにぎわいを見せます。

石窯で焼いたパンやドーナツ、地域の食材を味わえる「火の食堂」、地元で採れた新鮮な野菜や果物が並ぶ「水の市場」、農業体験ができる



2 アイデア無限大

和歌山市の南東部に位置し、約25・5ヘクタールの広大な敷地を持つ四季の郷公園は、元々は農業公園として平成3年に開園しました。

たけのこ掘りやブルーベリーの摘み取りなどの体験は以前からできましたが、最近では「ブルーベリー狩り&ジャム作り」、「じゃがいも掘り&ポテトチップス作り」など、収穫体験にとどまらないイベントも実施

されています。親子で参加したという母親は、自分の手で収穫したものを調理して食べるといった一連の体験が、子供の食育につながることを期待されていました。

また、大学教授による案内で星空を観察したり、自然の中で謎解きをしたりと、これまでにない新たなイベントも次々と開催されています。さらに、サイクリングの拠点やマラソンのコースにも利用できればなど、平松駅長は次々と浮かぶアイデアを話してくれました。

編集後記



8月の抜けるような青空のもと、精力的に甲子園球場約7個分の敷地内をくまなく回り、当地の魅力を探りました。

結果は、もう一度行きたくなる場所。世代に関係なく、自然と食と農と遊びを楽しめる公園です。フードハンターの名のとおり、地元の食材をベースにした食堂メニュー（スープカレーはおすすめ）や、家庭菜園やBBQ、四季を通じてのイベント等。誰もが楽しめるペットOKの道の駅です。

特集担当: 中村 元彦、園内 浩樹、坂口 多美子



「土の農園」、気軽にバーベキューを楽しめる「炎の囲炉裏」など、訪れる人の多様なニーズを満たすことができるのが魅力です。
公園の遊具は、「見晴らしの丘」、「つき山の遊び場」とエリアごとに対象年齢を分けて設置されており、その遊びやすさが好評です。公園内を流れる「四季の小川」では、メダカやカワニナなどの生き物を観察することもできます。
家族や友人と食事や買い物をする、公園で一日のんびりと過ごす、農業体験に精を出す、犬と散歩をするなど、人それぞれ多様に楽しめることから、リピーターが多いそうです。



3

都市と農村の交流拠点

全国的に、農村での高齢化が進み、農業者人口が年々減少していることが課題となっています。和歌山市においても、農業の魅力発信し、農村に人を呼び込む仕掛けづくりが求められています。

四季の郷公園の直売所に出荷している農家の中には、より多くの人に自分の野菜を届けたいと生産量を増やしたり、珍しい農作物に挑戦す

るなど意欲を見せる方もいるそうです。また、体験農園の指導者としても、地元の農家が活躍しており、地域の活性化につながっています。

近年、農山漁村に滞在して地域の自然や人々と交流を深める体験型観光が人気を集めています。自然豊かな四季の郷公園にも、都市と農村の交流拠点として更なる発展が期待できます。私たち議員は、新たな挑戦を続ける四季の郷公園の取組に注目し、市の活性化につながるよう、しっかりと支援していきます。



駅長 平松 泰行さん

道の駅 四季の郷公園 FOOD HUNTER PARK

和歌山市明王寺479-1
営業 / 平日10:00~17:00、土日祝9:00~17:00
定休日 / 年末年始
問合せ / ☎073-499-4370 (産直棟)
※営業時間や休日等は状況により変更となる場合あり。
詳しくはホームページで案内

9月定例会の概要

開会

9月15日

・会期の決定(9月15日～10月7日)

- ・議案説明(報告関係3件、議案16件(補正予算案3件、条例案4件、その他9件))
- ・先議分 採決

一般質問等

9月20日

・遠藤富士雄議員、赤松良寛議員、西風章世議員

9月21日

・永野裕久議員、姫田高宏議員、林 佑美議員

9月22日

・中村朝人議員、坂口多美子議員、山本忠相議員

9月26日

・追加議案の説明(補正予算案1件)

・南畑幸代議員、松本哲郎議員、井本有一議員

9月28日

・山本宏一議員、森下佐知子議員、佐伯誠章議員(P6～P9に概要掲載)

・議案等の委員会付託

常任委員会

9月29日～10月4日

・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

10月5日

・各常任委員会で議案について、討論及び採決並びに請願の審査
(P10～P11に概要掲載)

令和4年度予算(9月補正後)

一般会計	1,574億4,992万2千円 (補正額90億746万2千円)
特別会計及び公営企業会計	1,391億9,219万5千円 (補正額8,710万円)
合計	2,966億4,211万7千円

補正予算の概要

一般会計では、こども医療費助成事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、感染症患者入院医療事業、漁業者等支援事業、学校ICT環境設備整備事業、緊急自然災害防止対策事業、和歌山城ホール管理運営事業、移住定住戦略事業などに要する経費が計上されました。

特別会計では、卸売市場事業特別会計で、施設管理事業に要する経費が計上されました。

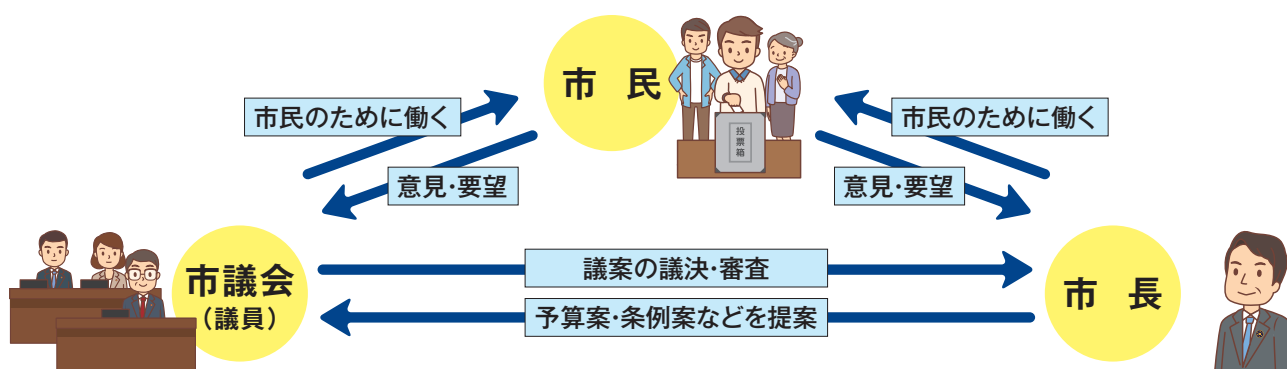
これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

閉会

10月7日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(南畑議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・追加議案の説明(決算関係18件)
- ・決算特別委員会の設置、委員の選任
※決算関係の議案は、閉会中の継続審査
- ・議員発議(意見書案3件)
- ・うち1件反対討論(森下議員)、採決

議会の仕組み(市民・市議会・市長の関係)



9月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。
 なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
 ※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	自由民主党市議団					公明党議員団					日本共産党議員団			民主クラブ			和歌山興志クラブ 日本維新の会		政和クラブ															
			山本大地	浜田真輔	中村元彦	丹羽直子	戸田正人	井上祐典	古川祐樹	遠藤富士雄	堀内章世	西園浩樹	園内浩隆	中塚浩昭	荻山昭博	奥山友紀	松本哲郎	井本有一	中村朝人	森下佐知子	坂口多美子	姫田高宏	南畑幸代	山中敏生	川端康史	永野裕久	山本忠相	寒川篤	林佑美	中谷孝次郎	赤松良寛	山野麻衣子	尾崎方哉	北野和己	芝本均	佐伯誠章
議1	和歌山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議2	令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議3	令和4年度和歌山市卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議4	職員の定年等に関する条例等の一部改正等	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議5	和歌山市職員の退職手当に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議6	和歌山市特定公共賃貸住宅条例の一部改正	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議7	市道路線認定(35路線)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議8	市道路線変更(7路線)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議9	令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議10	物品購入契約(高度救命処置用資機材)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議11	令和3年度和歌山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議12	令和3年度和歌山市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議13	令和3年度和歌山市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議14	教育委員会教育長の任命	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議15	人事委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議16	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議17	令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議18	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	水道施設整備の採択条件の緩和及び補助制度の新設を求める意見書案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議2	GIGAスクール構想実現に係る環境の維持及び修繕に要する財源の確保を求める意見書案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議3	北朝鮮のミサイル発射に対する嚴重抗議と断固たる措置及び防衛体制の強化を求める意見書案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※認第1号から同第18号までの議案については、決算特別委員会での閉会中の継続審査に付されたため、一覧に掲載しておりません。
 ※請願第6号については、所管の常任委員会に付託後、閉会中の継続審査に決したため、一覧に掲載しておりません。

意見書ってなに？

公益に関する重要な事項で市だけでは対応できない重要なものに関して、議会の意思を意見書としてまとめ、国や県などの関係機関に提出し、その解決を求めるものです。意見書は、議員が案文を議長に提出し、本会

議で可否を決めます。
 可決した意見書は、市議会ホームページでご覧いただけます。



請願及び陳情・要望のご案内

請願及び陳情・要望の方法は、市議会ホームページでご覧いただけます。

書き方など詳しくは、議会事務局議事調査課 ☎435-1120までお問い合わせください。

和歌山市議会 請願・陳情・要望

検索



請願及び陳情・要望の受理件数			
	請願	陳情・要望	計
令和4年度 ※9月定例会時点	1	3	4
令和3年度	1	21	22

Pick Up! 一般質問

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議員



えんどう ふじお
遠藤 富士雄

岩橋千塚古墳群を活用したPR

問 岩橋千塚古墳群は、古墳の数が全体で約900基、特別史跡内に約500基もあり、全国最大級の古墳群である。

中でも、特別史跡内にある天王塚古墳の石室の高さは5.9mで、熊本県の大野窟古墳に次いで全国で2番目であるが、あまり知られ

ていない。

古墳群で有名な宮崎県の西都原古墳群は、古墳の数は約300基ほどであるが、四季折々に植えられた花や木を楽しむことができることから、一年中、観光客が絶えない。そこで、岩橋千塚古墳群も、このように整備してPRしてはどうか。



岩橋千塚古墳群
(和歌山県立紀伊風土記の丘提供)

例えば、紀伊風土記の丘から古墳群に上がる北側の道だけでなく、南側の道を整備することで、貴志川線を利用したアクセスが可能となり、利用者の増加につながるのではないかと。また、四季の郷公園との連携による観光の活性化及び歴史の勉強など教育面にも効果があると考えられる。さらに、古墳群が文化財として知られ

ることによる文化財の保全や、ハイキングコースとしての利用による健康増進にもつながるのではないかと。このように意義のある整備であると考えますが、市長の考えはどうか。

答 岩橋千塚古墳群は、約900基の古墳からなる全国最大級の規模であり、国の特別史跡にも指定されている。

また、天王塚古墳の石室の高さは全国で2番目の規模で、本市の歴史を紹介する上で欠かすことのできない文化財として、天王塚古墳の石室の部分を実寸大で復元した模型や同古墳群から出土したはにわを市立博物館で常設展示している。

同古墳群は、本市にとって国内外に誇れる文化資源であることから、更に多くの方に知ってもらえるよう周知を図るほか、市としても積極的に観光や文化の振興、教育などの活用に取り組んでいく。

特に、尾根を越えて岡崎など南方面への県の追加指定が予定されており、貴志川線沿線の他の観光資源と

の連携、公共交通の活用、観光や文化の振興、教育及び健康増進につながるよう、南側からのアプローチ道路についても、効果的な整備となるよう、関係機関等と協議していく。



天王塚古墳横穴式石室内(写真左)と石室入り口
(和歌山県立紀伊風土記の丘提供)

補聴器購入の支援

問 国の補助がない中、フレイル予防という意味からも、本市が率先して補聴器購入を補助してはどうか。

答 厚生労働省が平成27年に発表した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)及び令和元年6月に取りまとめられた認知症施策推進大綱において、加齢による聴力低下が認知症の危険因子であるとされており、早期の適切な対応を図ることが、

認知症の発症や進行を遅らせる重要な要素の一つであることは認識しているところである。

補聴器は、加齢による聴力低下により声が聞こえづらく閉じこもりがちなる高齢者が、聞こえやすくなることで、友人等と地域に出て交流するようになるなど、社会的なつながりを維持しながら、住み慣れた地域で孤立することなく、安心して暮らすため、高齢者の外出支援、生活支援として極めて有効なツールであると考えている。

今回ご提案の補聴器の購入補助については、先進市の取組状況を参考にしながら、事業実施に向けて検討していく。



公明党議員団



にしかぜ あきよ
西風 章世

こども医療費助成制度

問 こども医療費の無償化を高校卒業まで拡充することであるが、実施に向けてのスケジュールや所得制限について、市長の考えはどうか。

答 安心して子供を生み育てることのできる環境整備を加速させるため、助成制度の対象を拡充し、所得にかかわらず、全ての18歳年度未までのこども医療費を無償にしたいと考える。

また、令和5年8月からの実施に向けて準備を進めていく。

リトルベビーハンドブック

問 小さく生まれた赤ちゃんを育てる家族の戸惑いや不安は計り知れない。そのような家族の気持ちに寄り添い、成長記録としても活用できるのがリトルベビーハン

ドブックである。これを手にするだけで、一人でも救われる心があるのなら、早急に作成に取り掛かるべきだと考えるが、市長の考えはどうか。

答 家族に少しでも寄り添うことができるよう必要な情報を盛り込んだ冊子の作成やホームページでの情報提供など、早期の実施に向け取り組んでいく。



夜間中学設置

問 一日も早い夜間中学の設置が必要だと考えるがどうか。また、「不登校特例校」の指定を受けてはどうか。

答 課題等を県教育委員会と情報共有し、設置について検討している。また、指定については、設置と合わせて

県教育委員会と連携し、慎重に検討していく。



まつもと てつろう
松本 哲郎

災害対策

問 大規模水害が毎年のように発生している中、河川の区域だけでなく、氾濫が想定される区域も含めて一つの流域と考え、流域全体で官民一体となつて、積極的に水害対策を進める流域治水の推進が必要である。現在、進められている亀

の川流域治水協議会において、地元の方々も完成を待ち望んでいる内原のポンプ場建設の位置付けはどうか。

答 内原の亀の川雨水ポンプ場は、中長期的な整備として、流域全体の治水安全度の向上を図るために実施することが位置付けられていたが、近年の浸水被害等を鑑み、短期内で着手できるよう取り組んでいく。

問 和田川雨水地下貯留施設の完成により、松島本渡線から東側地域の浸水被害

はかなり解消されたが、まだ雨水が引かない地域がある。更に対策が必要と考えるがどうか。また、西側地域の浸水被害には、一定の効果は見られるが解消されていない。今後どうするのか。

さらに、新たに計画に上がった大新、新南、広瀬地区の浸水対策について、早期に計画を立て、前へ進めていくことを強く要望する。



浸水被害の状況

答 松島本渡線から東側地域の一部で水が完全に引かない地域では、豪雨時の既存水路について、現在も状況の確認など調査を行っている。今後は、水路の機能維持を図るとともに必要な対策を検討していく。また、西側地域の道路冠水などの浸水被害は、中島川雨水ポンプ

場が完成することにより、排水効率が高まり、被害が軽減されると考える。

日本共産党議員団



ひめた たかひろ
姫田 高宏

六十谷水管橋崩落事故

問 「断水、条例で一律免責否定」の最高裁判決が出たことから、給水による骨折の医療費は補償すべきだと思つがどうか。

答 断水による給水作業などの間接的な原因での負傷は、相当因果関係があると認められないことから補償の対象ではない。



なかむら あさと
中村 朝人

スクールソーシャルワーカー／投票環境の拡充

問 学校内に福祉専門家として配置されているが、体

制不足など課題がある。充
実が必要ではないか。

答 現行を維持していく。

問 投票環境の拡充が必要
だと考えるがどうか。

答 今後とも協議していく。



さかくち たみこ
坂口 多美子

保健医療体制の強化を

問 コロナの感染爆発で保健
所や医療がひっ迫し、入院
が必要な病状でも入院でき
ない事態が本市でも起こっ
た。市民の命を守るため、
保健医療体制の抜本的強化
を進めるべきではないか。

答 地域の実情に応じた保
健医療体制となるよう関係
団体を通じて国に要望する。



みなみはた さちよ
南畑 幸代

城ホールのバリアフリー化

問 歩道から玄関前への誘導
ブロックの途切れ、平日の総
合案内は無人数など多くの問

題がある。今後、当事者の
意見を反映する市独自の条
例が必要ではないか。

答 条例によらず市独自の
基準で推進してきた。今後
も基準を更に徹底していく。



いもと ゆういち
井本 有一

駅にトイレ・屋根の設置を

問 JR布施屋駅と田井ノ瀬
駅でトイレと屋根が撤去さ
れ、利用者からの設置の要
望があるがどうか。

答 撤去は、車両のトイレが
利用でき、駅の利用状況や
コスト削減の観点からもや
むを得ない。設置は、本来
それを所有する鉄道事業者
が実施するものと考えてる。



もりした さちこ
森下 佐知子

旧統一協会

問 旧統一協会や関連団体が
大問題となる中、本市でも
関連団体の行事に当時の副

市長が表敬訪問に応じてい
たことから、全庁的に調査
するべきではないか。

答 行政の長として関わりを
持たないようすべし団体で
ある。全庁的に調査する。



なごの ひろひさ
永野 裕久

民主クラブ

**踏切道内におけるエス
コートゾーンの設置**

問 視覚障害者にとって最も
有効とされる踏切事故防止
策は、踏切道内の点字プロッ
クとされ、それは、エスコ
ートゾーンと呼ばれる。先日、
「道路の移動等円滑化に関
するガイドライン」を国土
交通省が改定したが、これ
には、踏切道内のエスコ
ートゾーンについて、設置義
務にまで踏み込んだ記述は
ない。しかしながら、本市
においても、事故が起こる
前に、市道に係る全128
踏切道を早急に調査し、危
険と思われる箇所から順次

エスコートゾーンの設置に向
けた取組を行うべきだと考
えるが見解はどうか。

答 まずは、「高齢者、障害
者等の移動等の円滑化の促
進に関する法律」に基づき、
指定された特定道路に位置
する南海和歌山市駅東側の
紀ノ川8号踏切に、エスコ
ートゾーン設置に向けて取り
組んでいく。

また、それ以外について
も、踏切道及び踏切道手前
部の道路状況を精査し、歩
行者及び車両交通量の多い
箇所などから、設置に向け
て調査していく。



やまもと ただすけ
山本 忠相

子育て環境日本一

問 これからの任期4年の
中で、まずは「子育て環境
日本一」を自認するための到
達目標や実現すべき制度政
策について、市長の見解は
どうか。

答 現在、核家族化やコロナ
禍の影響で妊産婦や母親等の
孤立感、負担感が高まってい

る中、新生児訪問や産後ケ
アなどの支援が一層重要にな
るため、引き続き、子育て
世代包括支援センター等を
通じて、支援の充実を図る。

児童虐待や不登校、ヤン
ゲケアーなどの支援を必
要とする子供や家庭に対し
ては、関係機関と連携しな
がら、こども総合支援セン
ターが中心となり、寄り添
い型の支援を進めていく。待
機児童の解消については、保
育人材の確保や学童保育の
充実などを進めていく。

また、高校卒業までのこ
ども医療費無償化について、
令和5年8月からの実施に
向け準備を進めていく。さ
らに中学校給食を現行の選
択制デリバリー方式から全
員給食へ移行できるように計
画し、同時に中学校給食の
無償化の実現を考えている。

**和歌山興志クラブ・
日本維新の会**



あかまつ よしひろ
赤松 良寛

本市の財務基盤の改善

問 財務健全化のためには、各部署が知恵を出し、発見した無駄に対処し、将来の費用発生を見越した準備、計画をしていくことが重要である。同時に、それを縦割りではなく、組織横断で見ること、部分最適から全体最適で考えていくことも重要だと考える。

答 そこで、遊休資産の徹底調査やその処分計画の策定、資産の一括管理が重要となる。また、将来の費用発生を見込み、年度ごとに基金の積み増しが必要だと考えるが、市長の考えはどうか。

答 遊休資産については、今後、現況調査を徹底して行い、売却や貸付け等を進めていく。また、和歌山市公有財産利活用等検討委員会において情報を共有し、財政局を中心に一括管理していく。さらに、今後は、主要施設の中長期的な経費の把握に努め、本市の未来のまちづくりに必要な公共施設の整備のための目的基金である「和歌山市未来のまちづくり基金」へ、財政状況を見

据えながら積み増しを行っていく。



はやし ゆみ
林 佑美

学校給食

問 学校給食は、子供の成長に大きな影響があることはもちろん、食育の観点からも重要であると考えます。

答 全国で小中学校の給食費無償化の流れが急速に拡大しているが、中学校の給食費の無償化はいつから実施されるのか。さらに、中学校だけではなく、小学校の給食費の無償化に向けた取組はできないか。また、食料費高騰の影響に対して、和歌山市給食費支援金で補填を行っているが、物価高騰が長期化すると支援金での補填ができなくなることが危惧されるがどうか。

答 中学校給食費の無償化については、令和8年度中に実現できるように取り組んでいる全員給食化と同時に実施できればと考えている。小学校給食費の無償化について

は、全世帯を対象とすると、多額の財源確保が必要となるため、現時点では困難と考えている。また、学校給食費の保護者負担を増やさないうえ、支援制度の継続を8月に国に要望している。今後も国の動向を注視し、検討していく。

政和クラブ



やまもと こういち
山本 宏一

バリアフリー条例の制定

問 城ホール建設に当たり、バリアフリーの特記仕様書が守られていなかった以上、条例を制定してはどうか。

答 市独自の基準でバリアフリー化を進めており、庁内会議において協議を重ね、最善の方策を検討していく。

アルテリーヴォへの支援

問 本市に本拠地を置くサッカーチーム「アルテリーヴォ和歌山」の活動の認知度、知名度はまだまだ低い。市

としてどのような支援をしてきたのか。

答 選手によるジュニアサッカー教室を開催し、多くの子供たちが、トップアスリートに触れる機会の充実を図ってきた。今後は更なる知名度の向上を図るため、本市のイベント等への選手の参加など積極的な広報活動に努めていく。

和歌山市文学賞の創設



さへき しげあき
佐伯 誠章

問 地域の知名度アップにつながるように、和歌山市もしくは有吉佐和子氏の名称を冠した文学賞を創設することについて、市長はどう考えるか。

答 有吉佐和子氏ゆかりの文学や地域の魅力を発信できるように、文学賞等の創設に向けて取組を進めていく。

川端龍子画伯顕彰事業

問 周年文化事業として、全国の関係・関連施設の所蔵する作品や「川端龍子賞展」

の大賞受賞作品を活用した事業を行うことについて、市長はどう考えるか。

答 生誕140年、没後60年を迎えることを機に、大田区立龍子記念館をはじめとする関係・関連施設に協力を求めるとともに連携を行い、展覧会等の開催に向けて鋭意取り組んでいく。

声の市議会だより

(市議会だよりの音声版)

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより(市議会だよりの音声版)を作成しています。

ご希望の方は、議会事務局 議事調査課
☎435-1120 までご連絡ください。



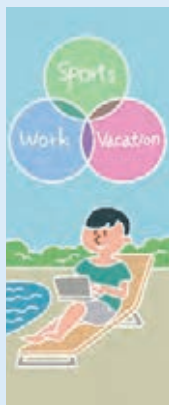
委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと、また、付託された請願1件については継続審査となり、閉会中もお、慎重審査を要することと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第2号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、庁舎管理事業7306万3千円について。これは、原油価格高騰等の影響により、新電力の入札が参加者1者のみ等の理由により不調となり、10月以降の電気代の見込みが大幅に高くなるため、光熱水費を増額するものです。

移住定住戦略事業149万7千円について。これは、和歌山市へのワーケーション推進のため、スポーツワーケーションに係る実証事業を行うものです。



議案第4号、職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について。これは、国家公務員について定年年齢の段階的

引上げや、管理監督職上限年齢による降任等及び定年前再任用短時間勤務の制度が設けられ、地方公務員法においても同様の規定に改められたことから、所要の改正等を行うものです。

議案第5号、和歌山市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、雇用保険法等の一部を改正する法律により国家公務員退職手当法が改められ、一定の事業を開始した者が事業を行っている期間等は、最大で3年間を雇用保険の基本手当の受給期間に算入しないこととする雇用保険受給期間の特例の新設に相当する失業者の退職手当の受給期間の特例が新設されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

議案第17号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、防犯灯電気料補助事業528万9千円について。これは、コロナ禍における電気料金の高騰により、各地区保有の防犯灯電気料金について、高騰分を補助し、市民負担を軽減するものです。

なお、審査過程において、令和4年度災害警戒本部設置状況について、災害時における情報発信について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

厚生委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第2号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、介護施設防災改修等支援事業3612万1千円について。これは、高齢者施設等の防災改修等に対する費用を補助するものです。

感染症患者入院医療事業856万1千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大に対応するため、入院医療費の自己負担分に対する公費負担を増額するものです。

議案第9号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、こども医療費助成事業753万7千円について。これは、こども医療費助成に係る対象年齢を18歳まで引き上げる制度拡充に対応するため、福祉系システムの改修を行うものです。

新型コロナウイルス感染症対策事業(私立保育所等)3107万8千円について。これは、コロナ禍における物価高騰に直面する私立保育所等に対して、保護者負担の軽減及び事業者支援を目的に、食

材費や光熱水費の高騰分に対する支援を行うものです。

議案第17号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、マイナンバーカード普及促進事業9億6499万7千円について。これは、マイナンバーカードの普及促進及び物価高騰に対する生活者支援を目的として、マイナンバーカードの新規申請者及び保持者を対象に金券を交付するものです。



物価高騰緊急支援給付金事業30億9672万8千円について。これは、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり5万円を給付するものです。

なお、審査過程において、介護サービス事業者の指定取消処分等取消請求控訴事件に係る結果、新型コロナウイルス感染症とワクチン接種、和歌山市の環境令和3年度報告(概要版)、太陽光発電事業の進捗について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

経済文教委員会

当委員会に付託された議案4件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第2号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、和歌山城ホール管理運営事業523万2千円について。これは、和歌山城ホールの大ホール及び小ホールの安全性向上のため、手すりを設置するものです。



和歌山城ホール(大ホール)

和歌山城公園施設整備事業49万5千円について。これは、破損した和歌山城公園動物園内ペンギン舎水槽前面の強化ガラスを修繕するものです。

学校ICT環境設備整備事業853万3千円について。これは、児童生徒に1人1台配備しているGIGASTAR端末について、故障に対応する修繕費を措置する

ものです。

議案第9号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第5号)中、和歌山城公園管理事業124万5千円について。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、和歌山城公園及び岡公園内のトイレの手洗いを自動水栓化するものです。

コミュニティセンター管理運営事業531万4千円について。これは、新型コロナウイルス感染症対策のため、コミュニティセンター16館の図書室にウイルス抑制・除菌用UV照射器を設置し、利用者の感染症対策を強化するものです。

議案第17号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第6号)中、観光誘客対策事業3500万円について。これは、コロナ禍で落ち込んだ観光需要を回復し、行動を制限されてきた本市の子供・若者に活気を与えるため、発信力のある東京ガールズコレクションの地方開催に要する費用の一部を負担するものです。

なお、審査過程において、青少年国際交流センターの管理運営について、(仮称)地域交流センター新築工事設計業務委託などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

建設企業委員会

当委員会に付託された議案7件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第2号、令和4年度和歌山市一般会計補正予算(第4号)中、緊急自然災害防止対策事業7652万円について。これは、緊急自然災害防止対策事業計画が国に採択されたことに伴い、浸水時の道路施設の被害軽減を図るために、舗装修繕を行うものです。

和歌の浦魅力向上施設整備事業9870万円について。これは、和歌の浦魅力向上施設整備に伴う外構整備やトイレ新築、離れ棟の耐震改修設計等を行うものです。



現在の和歌の浦魅力向上施設

民間建築物耐震改修促進事業1166万円について。これは、耐震性が不足している民間建築物の耐震改修工事に対する補助金交付事業について、当初の試算より

も応募件数が多くなる見込みのため、補助金を増額するものです。

雑賀崎廃旅館除却事業170万8千円について。これは、略式代執行による除却を進めている雑賀崎の廃旅館について、解体工事を実施する区域を明確にするため測量登記を行うものです。

消防団業務事業400万円について。これは、消防団運営の普及促進を目的として、大学の学園祭へのブース出展や、消防音楽隊のコンサート開催を通じて、消防団への入団勧誘を行うための経費を補助するものです。

議案第6号、和歌山市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について。これは、国土交通省において特定優良賃貸住宅及び特定公共賃貸住宅に係る省令が改められ、入居者資格を同居親族がある者に限らず、里親制度における里子等、親族に相当すると考えられる者と同居する者についても資格要件を満たすとされたことに伴い、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、送水管の複線化・新浄水場建設(案)(和歌山市新水道事業ビジョン)などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

謹んでお悔やみ申し上げます

本市議会議員、宇治田 清治氏(70歳)は、8月24日にご逝去されました。
 故・宇治田清治議員は、平成11年以来、和歌山市議会議員に6期当選されました。その間、議長、副議長、議会運営委員会委員長、産業企業委員会委員長、建設企業委員会委員長ほか複数の特別委員会委員長を歴任され、本市の発展に寄与されました。



令和4年8月21日執行の 和歌山市議会議員補欠選挙において 次の2名が当選されました



はやし ゆみ 議員

和歌山興志クラブ・
日本維新の会
【常任委員会】
厚生委員会



やまもと だいち 議員

自由民主党市議団
【常任委員会】
経済文教委員会

次の定例会は、
12月です!



委員会調査活動報告

建設企業 委員会

建設企業委員会では、閉会中の令和4年8月5日に委員会を開会し、紀の川以北地域への唯一の送水管である「六十谷水管橋」や本市の基幹浄水場である「加納浄水場」、和田川雨水地下貯留施設の一部である「和田川雨水簡易ポンプ場」や指定管理者制度を導入している「和歌山東公園」、パークPFI制度を導入している「本町公園」等の都市公園の現地視察を行いました。



六十谷水管橋の現地視察の様子

2022 和歌山市第1回日本台湾学校美術作品合同展

日台友好和歌山市議会議員連盟と日本台湾文化芸術交流会の主催で、和歌山市と台湾の児童が描いた水彩画などの作品展が7月に和歌山城ホール展示室で開催されました。コロナ禍で人的交流が難しい時期ではありますが、色彩豊かな作品が合同で展示されることで、芸術を通じた子供たちの文化交流が実現しました。日台友好和歌山市議会議員連盟では今後とも台湾との友好交流に努めてまいります。



ご意見・ご感想をお待ちしております

和歌山市議会広報委員会

【委員長】中村 元彦 【副委員長】堀 良子
 【委員】中村 朝人 林 佑美 中庄谷 孝次郎
 山中 敏生 川端 康史 山本 大地
 坂口 多美子 園内 浩樹 佐伯 誠章

〒640-8511
 和歌山市七番丁23番地
 和歌山市議会広報委員会 宛
 TEL : 432-0022(議会事務局)
 FAX : 424-9276
 Mail : gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
植物油インキを使用しています。

